「政策転換 誰のため」

舞鶴 原発ゼロ集会に220人

東日本大震災 12年

「原発ゼロ3・12京都北部集会」が東日本大震災・東京電力福島第1原発事故から12年の12日、舞鶴市浜の市総合文化会館であった。舞鶴地方労働組合協議会などでつくる実行委員会が主催し、原発ゼロを目指す集会アピールを採択した。

集会には約220人が参加。京都自治体問題研究所の市川章人さんが「原発政策の転換は何をめざすのか 誰のための政策転換か」と題して記念講演した。

市川さんは「事故以来、古里に今なお戻れない福島の大勢の人がいる。政府が原発の最大活用へ舵を切ったのは原子力産業、財界の要求を丸のみした政策転換であり、かつてないほど露骨だ。福島の教訓、苦難を生かしていない」と強調。早期の再稼働や運転期間の延長を図る政府は「暴走状態」「惨事便乗型資本主義」と批判した。

また、老朽化原発の危険性や増大する使用済み核燃料の現状を語った。ロシアによるウクライナ侵攻も取り上げ、「ミサイルによる原発攻撃」についての日本の危機感の低さを訴えた。宮津・与謝や福知山市の「原発ゼロ」を目指した取り組みの報告などもあった。

政府は、ロシアのウクライナ侵攻などでエネルギーを巡る情勢が一変し、脱炭素と電力の安定供給には原発の利用が不可欠として、昨年末までに再稼働や運転期間延長を推進する方針を決定している。【塩田敏夫】

「原発政策の転換の危険性」を訴える市川章人さん
＝舞鶴市浜の市総合文化会館で

新型コロナ

新たに31人感染

12日は130人

府と京都市は13日、新たに31人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。死亡者は確認されなかった。12日には130人の感染と1人の死亡が確認されており、府内の感染者は計67万1054人、死者の累計は1650人となった。【中島怜子、矢倉健次】

新規感染者の年代別人数は以下の通り。

＜12日＞10歳未満12人▽10代7人▽20代18人▽30代19人▽40代16人▽50代22人▽60代11人▽70代14人▽80代10人▽90歳以上1人

＜13日＞10歳未満4人▽10代1人▽20代7人▽30代5人▽40代4人▽50代6人▽70代1人▽80代2人▽90歳以上1人

■府内の陽性者数

2/6～2/12	3788人
2/13～2/19	2391人
2/20～2/26	1582人
2/27～3/5	1271人
3/6～3/12	979人
3/13	31人

※府、京都市の発表による

■府内のワクチン接種状況
（3/7現在）

1回目：	204万4617人
2回目：	201万4729人
3回目：	164万4515人

※政府の発表による。府の推計人口は254万4413人（2/1現在）